

(4) 観光情報の発信と情報の収集

① 訪れたいと思っただけの観光情報の発信

■ いろいろな形で情報を発信する

仙北市ウェブサイトを手前に情報発信手段として活用します。こちらからの一方的な情報の発信だけではなく、相手方からの情報もいただく手法や海外の外国人をターゲットとしたウェブサイトの充実を図ります。

また、多くの方々に観光情報を発信するためには、マスメディアを最大限に利用することが最大の方策です。あらゆる機会、あらゆるマスメディアを利用した情報の発信に努めます。

【施策】

- ・ 海外向けウェブサイトの強化
- ・ マスメディアへの最新情報の提供
- ・ フィルムコミッションへの支援

■ いつでもどこでも情報を提供する

今まで観光情報の提供を行っていたホテル、旅館、お土産店のほか、観光客が立ち寄るコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどをはじめとするすべての業種を対象とした店舗に協力をいただき、市内どこでも、いつでも観光情報を手に入れることができるシステムづくりを構築します。

また、首都圏に仙北市の観光、物産等のPRのためアンテナショップの整備を検討し、首都圏での仙北市ブランドの確立と知名度アップ、観光情報の提供、収集を行います。

【施策】

- ・ 観光情報ネットワークの構築
- ・ 仙北市首都圏PRセンターの設置

■ 仙北市の知名度をアップさせる

仙北市誕生から2年余りになりますが、「仙北市」の名前は、仙北市から距離が遠くなるにつれ知名度が薄れていき、首都圏では全く無名であるといわざるを得ません。

「仙北市」は、今後徐々に浸透していくと思われませんが、誘客や商品の販売、宣伝のためにも、「仙北市」の知名度アップを図る必要があります。

今後は、あらゆるとき、ところで「仙北市」の名を売り込み、また、「仙北市」と「角館」、「田沢湖」、「西木」の名をそれぞれの状況に応じて使い分ける必要があると考えられます。

【施策】

- ・ 商品等への「仙北市」と「角館」、「田沢湖」、「西木」の併記
- ・ 地区別ポスターの統一化によるPR
- ・ マスコットとキャッチフレーズの作成

■ 観光サポーターを募集する

仙北市の観光に関心を持っている方や観光の振興に熱意を持った方、首都圏等在住の仙北市出身者など、広く市内外から「観光サポーター」として協力できる方を募集、登録し、仙北市の観光情報の発信、収集と観光宣伝やイベントのボランティア等を努めていただきます。

また、仙北市出身の有名人や全国的な著名人への観光大使の任命や観光レディーの募集を行い、観光キャラバンなどの観光宣伝事業を展開します。

【施策】

- ・観光サポーターの募集
- ・観光大使や観光レディーの募集
- ・観光大使等による観光キャラバン

② 情報の収集とニーズの把握

■ ニーズを把握する

観光客が仙北市に何を求めているのかを正確に把握し、これを施策に反映することが、「行ってみたい、また行きたい」という方々を増やすことにつながると考えられます。この情報の収集と分析は、観光施策や情報の提供と密接な関係にあります。

このため、アンケート調査をはじめできる限りの方法で、観光客、観光に関心のある方、ない方などから継続的に情報を収集し、その分析を行い施策に反映します。

【施策】

- ・インターネットによるアンケート調査と分析
- ・観光客や観光事業者等へのアンケート調査と分析



(5) 観光と農林業、商工業の連携

① 地場農産物の活用

■ 農産物のPRと販売を促進する

安全安心な農産物の生産供給や地産地消の動きが活発化している中で、仙北市を訪れる方はもちろん、積極的に宿泊施設や飲食店へ提供することなどにより、地場産農産物の新たな販路開拓に努めます。

また、仙北市の農産物をインターネット等で積極的にPRするとともに、販売を希望する農産物の情報を提供するデータベースの設置やネット販売についても検討を行います。

【施策】

- ・ インターネット、イベント等を活用したPR活動
- ・ 認定農業者団体による「自ら生産した仙北ブランド農産物」の販売活動
- ・ 認定農業者、飲食店、宿泊施設へのアンケート調査
- ・ 「山の楽市」など県内外のイベント、物産展への出店
- ・ 農産物生産情報データベースの設置やネット販売

■ スローフード、地産地消を推進する

仙北市を訪れる方には、直売所での地場産農産物の販売や、宿泊、飲食施設等への食材を提供することにより、これからも仙北市農産物の質の良さをアピールしていきます。

また、農産物の直売所は、価格、安全、新鮮さを求める観光客や地元の方々から好評を得ていますが、今後、各直売所の置かれている現状を把握するため、懇談会等を開催することにより、情報の共有や意見交換を行いながら積極的な販売の促進とPRに努めます。

【施策】

- ・ 農産物直売所、飲食店、宿泊施設へのアンケート調査
- ・ 地場産農産物を提供する飲食店、宿泊施設の拡充
- ・ そば打ち体験施設や手打ちそばを提供する店のネットワーク化とPR
- ・ 農産物直売所、加工施設の新規開設等への支援
- ・ 農産物直売所マップによる情報発信とイベントの開催

② 特産品の開発と販路拡大

■ 特産品の販路を拡大する

特産品の販路拡大については、県内外で行われる催事や物産展への参加などを通して一定の成果を上げていますが、引き続き特産品を活用した「仙北市の魅力」を広く県内外に発信する宣伝活動に取り組んでいきます。

また、首都圏における仙北市物産と観光PR機能を担うアンテナショップは、今後の販路拡大のためには必要不可欠な施設であると考えられますが、施設の整備には多額の経費を要するため、運営の形態や設置場所等について十分検討しながら進めます。

【施策】

- ・ 特産物販売促進
- ・ 仙北市首都圏PRセンターの設置

■ 特産品を開発しブランドを確立する

仙北市には、樺細工やイタヤ細工などの優れた特産品や地元の自然、文化を活かした観光土産品が数多くあります。今後、樺細工に続く観光客をはじめ、市民にも喜ばれる特産品やオリジナル商品の開発に取り組んでいきます。

また、地域の特性を活かした、ここにしかない農産物、優れた商品などをブランドとして確立し、これら仙北市発の商品、サービスのブランド化を通じ、地域経済の活性化につなげる取り組みを推進します。

このほか、地場産農産物を使用したアイデア料理や加工食品を募集するなど、新メニューの開発と特産品の使用拡大を図ります。

【施策】

- ・ 仙北市推奨の物産認証制度の創設
- ・ 特産品開発事業の支援
- ・ 特産品料理コンクールや料理教室の開催

(6) ほんものと出会える体験型観光の推進**① 感動を与える体験と交流****■ グリーンツーリズムを推進する**

仙北市では、これまで農林業体験、トレッキング、山菜取りなどの体験ツアーが盛んに行われており、県内でも先進的な地域となっています。

今後さらに受け入れ団体の連携を図るために、組織強化とインストラクターの養成、仙北市の持つ自然、歴史、文化、温泉などの多様な資源を活用した体験プログラムを創設し仙北市型ツーリズムの確立と定着を図ります。

【施策】

- ・ 関係団体の連携強化
- ・ 農業、林業、食、歴史等や長期滞在型の体験型観光メニューの設定
- ・ 体験別インストラクターの養成
- ・ 都市と農村交流の推進

■ 広域的体験型ツアーを推進する

隣接する大仙市、美郷町、北秋田市、岩手県雫石町等との連携のもとに、それぞれの持つ観光資源や歴史遺産、体験施設等を掘り起こし、お互いの情報提供とその活用を検討し体験ツアー推進体制の確立を図ります。

そして広域的なサイクルツーリングコース等の設定により、地域住民とのふれあいを図る体験型ツアーを推進します。

また、秋田内陸縦貫鉄道の利用を組み込んだ体験ツアーコースを設定し、北秋田市や白神山地を含んだ県北部との交流を促進します。

【施策】

- ・ 体験ツアー推進体制の構築
- ・ サイクルツーリングコース等の設定
- ・ 秋田内陸縦貫鉄道を活用したツアーコースの設定

② 学習旅行の支援

■ 受入先農家等を育成し支援する

仙北市の体験学習には、関係機関の協力により20を超えるメニューが用意されていますが、利用されているメニューに偏りがあります。また、受入農家が不足していることや職人による体験学習指導者の高齢化や後継者不足などの課題も抱えております。

このため、グリーンツーリズム関係団体、先駆団体との連携や、アンケート調査による意識調査などを踏まえ、受入先農家等の開拓や体験メニューの整備を図ります。

【施策】

- ・ 受入農家等の開拓
- ・ 体験メニューの整備

■ 体験場所を整備する

学習旅行は自然と触れ合う体験に人気があり、最近では林業体験が注目されています。枝打ちや下刈り、また山菜取りなどは山林での作業であり、その場所の確保、整備が必要になります。

市や財産区の山林等を体験学習の場に開放し、要望のあった体験学習への提供に努めるとともに、山菜自生地を確保するため、地域や関係団体との協力体制を構築し体験場所の整備を図ります。

【施策】

- ・ 山林等体験学習場所の整備
- ・ 地域住民との協力体制の構築

(7) 国際観光の推進

① 外国人向けメニューの開発と情報の発信

■ 外国人が求める魅力を創り出す

外国人は、その国それぞれ多種多様なニーズをもっているため、日本や仙北市の観光に求めるものは異なっています。外国人のニーズを正確に把握し、これを踏まえた上で、国別の外国人向けモデルコースを開発し積極的にPRします。

特に、最近増加している韓国、中国、台湾からの観光客は、温泉やスキーに興味を持っている方が多く、冬期もこれを目的とした観光客が訪れています。外国人が冬期観光推進の牽引役となる可能性は十分にあることから、冬期観光の誘客面からも外国人向けのモデルコースづくりを推進します。

【施策】

- ・ 国別モデルコースの設定
- ・ 冬期モデルコースの設定

■ 大学等と連携を図る

ノースアジア大学との観光に関する連携協定に基づき、同大学や他の大学等とも協働により国際観光の推進を図ります。

外国人教師や留学生からの協力を得て、海外や外国人観光客からの情報の収集、海外への情報発信を行うことにより外国人観光客の誘客を図ります。

また、大学等の学生や留学生の語学力を活かした、英語、中国語、韓国語による外国人観光客との通訳、観光事業者等への基礎的な外国語習得、ガイドブックの作成に関する取り組みを行います。

【施策】

- ・ 観光アンケート調査
- ・ 観光客に対する通訳の支援
- ・ 学生による外国語講座
- ・ ガイドブックの作成

■ 海外に情報を発信する

外国人観光客のリピーターを増やすとともに、まだ仙北市を訪れたことのない外国人に対して仙北市の魅力をPRするための情報発信を行い、新規外国人観光客の誘客に努めます。

また、日本在住の外国人、近隣の観光地を訪れている観光客を更に仙北市まで足を伸ばしてもらうための広域的周遊観光を図るため、近隣観光地や空港での宣伝活動、海外の外国人に対する魅力的な情報の発信を行います。

【施策】

- ・ 主要空港でのPR活動
- ・ インターネットによる海外向け情報の発信
- ・ 海外マスコミ、旅行エージェントへのPR活動
- ・ 海外見本市等への参加

■ 海外友好関係都市等と協力する

仙北市や民間団体等と友好関係にある海外の都市とは、更に友好的な関係を強固なものにするため、交流の促進を図るとともに民間団体の交流促進について支援を行います。

更にこれを足掛かりとして友好関係にある都市だけではなく近隣都市まで観光誘客の輪を広げ誘客促進を図ります。

これには、仙北市だけではなく、秋田県、近隣市町、観光関係団体等と連携した海外での宣伝活動などの誘客事業を推進します。

【施策】

- ・ 海外友好都市観光キャラバン

② 受入態勢の充実

■ わかりやすい案内をする

外国人観光客向けパンフレット、マップとして、日本人向けと同等のものや旅行目的に適合した目的別のものが必要であると考えられます。

海外から来た観光客が、一人だけでも観光パンフレットひとつで、楽しく容易にまちを巡ることができるような観光ガイドブックを作成します。

また、道路や公共施設の案内看板のみならず、民間観光事業者の看板等にも、英語だけではなく中国語、韓国語など数力国語での併記の協力を要請し、外国人受入態勢の推進を図ります。

【施策】

- ・ 目的別ガイドブックの作成
- ・ 道路案内看板や店舗等看板の数力国語併記

■ 外国語ができる人材を育成する

仙北市には、数力国から百人以上の外国人が居住しており、在日外国人の中には日本語が堪能な方もおります。

こういう在日外国人や市民の中で外国語のできる方々、大学の学生等からの協力をいただき、市民やホテル、旅館、お土産店など直接外国人観光客と「ことば」を交わす方たちが、外国人に観光案内ができる必要最小限の語学力習得のための取り組みを行います。

【施策】

- ・ 市民、観光事業者向け外国語講座や接遇研修